

# よっ葉だより

2025年  
9月1日号  
No.850

～地産地消～  
いのちと健康暮らしを守る  
よっ葉生活協同組合

## 7月19日（土）茨城県石岡市の朝日里山学校にて ～やさと農業体験②野菜の収穫～を行いました。

朝から焼きつけるような強い太陽の日差しの下、20家族が参加し、総勢80名でがんばりました。

はじめにやさとの柴山さんからお話をお聞きしました。昨年、トウモロコシは苗を植えたのですが、収穫時期が合わなかったため、今年は4月の農業体験の時に、種を直播きしました。しかし発芽率が悪く、100個のうち1本くらいしか芽が出ませんでした。かぼちゃとじゃがいもは順調でした。すいかは定植苗の大きさが小さくて、半分くらいしか根付かなかったようです。天候不順で年々難しくなっていると感じます。

その後、畑へ移動しました。雑草のあいだにあるかぼちゃやすいかを、宝探しのように見つけている子どもたち、土の中から一生懸命掘ったじゃがいもを手い、笑顔がキラキラかがやいていました。

収穫の後は、みんなが楽しみにしているお昼ごはん。人数が多かったので、2部屋に分かれました。

よっ葉のオリジナルカレールー（甘口）とやさとの野菜が入ったカレーライス、夏野菜の素揚げ、やさとの半熟卵、キュウリ、収穫したすいかです。

食事の途中から生産者・参加者の交流会も行いました。

どちらの部屋でも、やさとの生産者さんのお話を聞き、農業の問題を一緒に考えました。私たちの生活でも実感しますが、夏の異常な暑さは大問題です。カメシの悩サもあります。雨も降らず、水不足も大きな問題です。野菜も生き物も、厳しい環境の中、生きています。

やさとの卵も、ニワトリのエサになる飼料用米が不足してピンチ。餌がなくなるとトウモロコシがたくさん必要です。夏は暑さでニワトリは水しか飲まなくなり、卵のサイズが小さくなり、規格外になることで安く落ちてしまいます。そのためやさとして、半熟卵として加工し販売していると聞き、お昼ごはんでも有り難くいただきました。これから産地と共に、私たちの食を考えていきたいと思いつながら、無事終了しました。

理事 石川



「手には大きなかぼちゃ」



「じゃがいもたくさん掘れたよ！」



「がんばって収穫しました♪」



「朝日里山学校」

## 米不足は本当に米がなかっただけでした

農水省が2024年産の米が、当初予想していたより実際は少なかったと発表しました。「24年産の生産量は679万トンで、消費量の見通しは674万トンだったが711万トンになって、32万トンが不足していた」

消費量が、37万トン予想より増えたこととなります。

消えた31万トン、と騒がれ、「流通で目詰まりしているのではないか」「南海トラフ地震の予測で家庭内備蓄している」とか「誰かがどこかで操作しているのではないか」などと言われ、前農相は「十分に供給されているのに市場に出てこないのなら、どこかにストックしていると考えざるを得ない」と、生産量は十分あると説明していました。

当初から農家や生産者現場から昨年の作況指数の「101」に対して、「昨年より収量は少ない。精米した時の胴割れ米が多い」と指摘されていました。このズレから、今年は「平年比」を見直し、「前年比」になりました。しかし、米不足の原因は現場と統計のズレレベルのことではないと思います。

令和の米騒動で、農家の声が私たちにもはっきり伝わってきました。「時給10円、100円で農業を続けられますか？」

2024年産米の生産者価格は22,000円/60kg程度でしたが、昨年までは14,000円/60kg前後で、作れば作るほど赤字だと言われました。田んぼの水は井戸水をポンプで上げているところも多く、電気代、肥料代のほか、田植え機、稲刈り機、乾燥機など、特に農機具は1千万円以上のものもあり、機械の老朽化で農業をやめる農家も多いのです。

2023年からすでに米不足は起きて、2024年産を待っていたが前年より高温、カメムシ、水不足の被害が大きく、北関東でも農家から不作の声しか届きませんでした。大凶作並みだったと言われています。特にカメムシ退治に使われるネオニコチノイド系農薬を使わない、有機農家の被害が大きかったのです。

通年の供給では前年の米と新米が重なりますが、2024年はその余裕が、よつ葉生協でもありませんでした。

政府は、米の増産に踏み切り、飼料米を主食に切り替える農家が出てきています。しかしその一方で増産による「米余り」を指摘する声も出てきています。

今年は備蓄米の準備はしないとしています。何故「米余り」の意見が出てくるのか。災害時の備蓄米は、GATTとの関税交渉で毎年77万トンの無関税で輸入しているミニマムアクセス米のアメリカ産の分を増やす中で、カルローズ米を備蓄に回すしか手立てがないのではないかと思います。

米は私たちにとって主食であり、余るからと減反し続けた結果が、昨年、今年の状況です。米作は準備と手間がかかり、作ったり減らしたりできるものではないことは、地域の田んぼを見てもわかります。

「産直生協」をすすめるよつ葉生協もあつという間に完売してしまい、米を届けられないという、生協として不安や米がない現実をつくり出してしまいました。この産直の考え方は、農家に来年も安心して栽培してもらうことに見合った生産額の保証をすることができます。時給10円とか100円とか言われていることからの脱却を目指していくことの実現ができると思います。

栽培管理も含めて、お互いが理解でき、信頼をつくり出すことが直接できることが何よりも得難いことであり、農家の顔を思い浮かべてご飯を食べることができる幸せを、改めて感じることができました。

今年の米の生育状況も、高温、カメムシ、水不足で厳しい気象条件下で見通せない点もあります。農家とよつ葉生協で、昨年の反省をふまえ、途中で米不足が起きないように、登録制度の呼びかけや新しい農家とのつながりを強めていきたいと思っています。

(顧問 富居)



## こうべをたれない稲穂



カメムシの吸汁によって実が入らず(不稔)。実が無いので、直立した草姿になっています。



本来の実った稲穂



- ・体長12~13mmの大型の斑点米カメムシ
- ・1950年代水稻の主要害虫
- ・2024年に栃木県南で大被害をもたらしました。
- ・他の斑点米カメムシより高温条件下で生育が早く進む。第一世代成虫の羽化により、被害が増えた可能性あり。

# 参加してみませんか

<お問合せ よつ葉生協 組合員組織部 TEL 0120-07-1613>



## 地産地消～守ろうふるさと のこそう緑の大地～ 上三川農業体験②「稲刈りをしよう！」

実ったお米の稲を、鎌を使って刈り取り「はざがけ」にします。みんなでお昼ご飯を食べながら生産者と交流しましょう！新米のお土産が付きます。応募者多数の場合は抽選になります。

日時：10月4日（土）10：00～13：30頃（受付9：30～） 雨天決行 

会場：有機農業技術支援センター（栃木県河内郡上三川町下神主 233-1）

参加費：組合員 大人（高校生以上）1000円 子ども（小・中学生）300円

一般 大人（高校生以上）1200円 子ども（小・中学生）300円

\*未就学児無料

定員：25家族程度

託児：なし

締切日：9月19日（金）

主催：よつ葉生協



### 「親子でパン作り」7月23日

タカサゴパンの社長をお招きして、米粉パン（アンパン、ウィンナー入りパン）を3組ずつ作りました。

予め用意した材料を混ぜてから、捏ねる作業をしていきました。皆でお話しながら楽しく捏ねる作業をしていき、成形してからアンコを入れ、ウィンナーを巻きました。

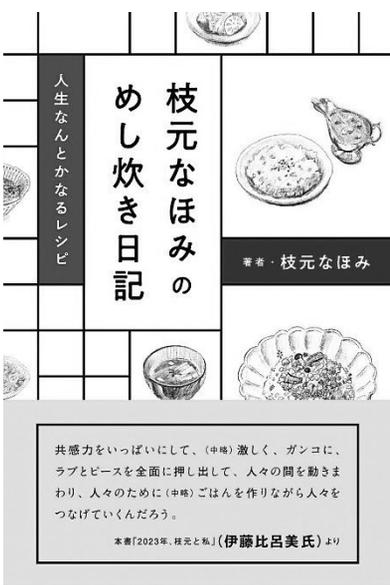
10分程度発酵させて、パンを焼いている間は社長から「食育」についてのお話もあり、身体にいい食べ物、安心安全な食べ物について再認識しました。

焼き立てのパンと薄井委員の特製スープと一緒に試食。

参加して頂いた方から「中々お家で作る機会がないので、来年も開催してほしい」、「夏休みの思い出が出来ました。忘れないうちに、もう一回作ります。」等、嬉しい感想が沢山で、これも一重にタカサゴパンの社長のお人柄の賜です。この場をお借りして、大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

（那須塩原委員会 阿久津）

### よつ葉文庫 新刊登録



#### NO. 1340 枝元なほみのめし炊き日記—人生なんとかなるレシピ—

枝元なほみ著、農山漁村文化協会

枝元なほみさんは、2025年2月に亡くなりました。上三川町で行われた有機農業のお祭りにも何度かおいでいただき、料理教室もやって下さいました。

ホームレスの自立のためにビッグイシュープロジェクトを立ち上げ、1冊450円の雑誌を路上で販売し、230円が販売者に残り、残り220円をその雑誌を作ったりプロジェクトを回したりしていくお金にしていました。

また、夜のパン屋さんという、パン屋の閉店後に残りそうなパンを販売するビッグイシューの新しいプロジェクトを立ち上げ、フードロスと仕事づくりを考え活動していました。

この本では、毎日の食事で作ってみたいレシピが、文章の合間にイラストと一緒に紹介されています。もともとの持病に加え、2023年正月にコロナで肺炎が悪化し、闘病生活を強いられていました。初版

は2023年9月でした。

枝元さんがこんなことを考えて生きていた、活動していたことが、いつもいつも他の人の幸せの応援がすべてだったことを、強く感じずにはおられませんでした。

どれだけ多くの方が生きる力を取り戻したであろうと思います。今も一人ひとりの心の中に、あの優しい笑顔のままで生きていることでしょう。

（顧問 富居）

#### よつ葉文庫のご案内

貸出期間はすべての本で1週間です。

「よつ葉文庫」は組合員のための図書室です。多くの組合員に貸出するためご協力をお願いします。本のリストはHPでご覧いただけます（組合員の方へ→「よつ葉文庫」のアイコンをクリック）。借りたい本は、注文書のご意見ご要望欄に本のナンバー・題名・貸し出し希望を記入して、配達員にお渡しください。翌週、配達でお届けします。貸し出し希望が多い本の場合お待ちいただくこともありますので、ご了解ください。

## 第2回 定例理事会報告 8月6日（水）

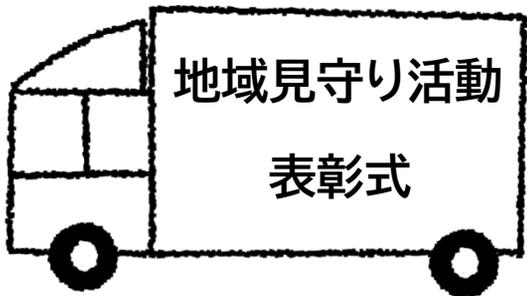
### 《報告・協議事項》

- (1) (株) コープ有機契約継続について  
 (株) コープ有機契約継続について提案がなされ、継続審議となりました。
- (2) 2025年よつ葉生協組織図について  
 2025年度 よつ葉生協組織図について説明がなされ、確認しました。
- (3) 地域見守り活動実績報告について  
 ・7月28日  
 小山市内の配送先で組合員が転倒・介抱の対応  
 ・8月1日  
 群馬県板倉町にて、配達中に地域の高齢者の異常を発見し、救急 要請・応急対応。
- (4) 7月度 組合員活動会議報告

- ①よつ葉の広場 話・輪・WA の予定について
- ②本部企画について
  - ・農業体験
  - ・夏休み親子 本部セットライン見学会
  - ・アップルファームさみず産地交流会
- ③ふれあいまつりについて 11月15日（土）
- ④戦後80年 よつ葉での取り組みについて

### ●7月度事業実績

|      |                                  |
|------|----------------------------------|
| 組合員数 | 27,410名（7月20日現在 前年比100.8%）       |
|      | 加入126名 脱会108名                    |
| 供給高  | 370,852千円（前年比96.8%）              |
|      | 2025年4月～累計1,540,092千円（前年比101.1%） |

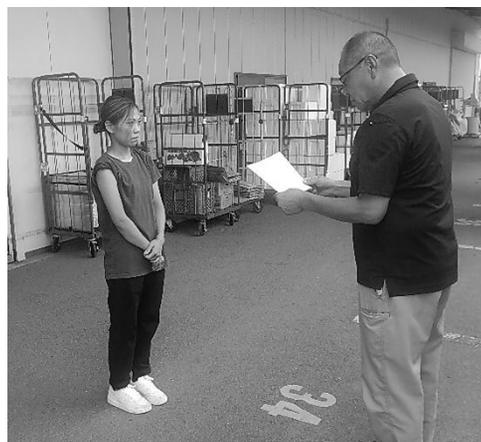


よつ葉生協では、毎週決まった曜日・時間に同じ担当者が商品を届けるという特性を活かし、配送のご家庭の異変に気づいた際には必要に応じて連絡や通報など、状況に合わせた対応をする「地域見守り活動」を行っています。

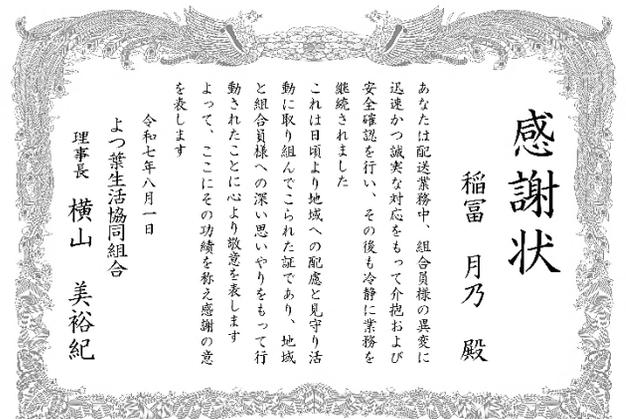
連日の猛暑が続く中、小山センター内で2件の地域見守り活動の実績がありましたので、ご報告をさせていただきます。組合員や地域の安全を守り、臨機応変に力強い対応をしてくださった3名の配送員の功績を称え、よつ葉生協内にて表彰を行いました。（理事長 横山）



配送担当 竹村光博さん



配送担当 麻生実鈴さん



配送担当 稲富月乃さん

### 現在募集中のイベント



10月2日（土）よつ葉の広場  
 『話・輪・WA in 宇都宮』  
 お申込みはこちら→  
 ✕切 9月19日（金）



### 東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告（8月3週分）

ご協力ありがとうございます。  
 組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています（単位：円）

|                     |        |
|---------------------|--------|
| 放射能から子どもを守る募金（900番） | 4,900  |
| 震災孤児を支援する募金（910番）   | 13,400 |
| 「有機農業と国産種子」募金（920番） | 7,100  |
| 合計                  | 25,400 |

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。  
 WEB注文の場合は、左側「企画商品・募金」内の「募金関連」をクリック。  
 一口100円の募金になります。

### よつ葉太陽光発電報告

○6月24日から7月23日（30日間）の太陽光発電量は、15,541 kWhでした。CO2削減量は4,888kg（18Lの灯油缶を205本燃焼した量）です。

ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、共同購入注文書またはお手紙でお願いします。掲載の方には粗品をプレゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはありませんので、ご了承ください。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮 1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <https://yotsubacoop.jp/>

よつ葉だよりメールアドレス [yotsubadayori@yotsuba-coop.jp](mailto:yotsubadayori@yotsuba-coop.jp)



ホームページ



Facebook



Instagram